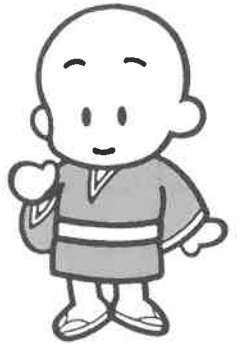


円心くんの



まちの
話 題

卒園おめでとう

町内各幼稚園で卒園式

三月十九日(火)、町内の各幼稚園で一斉に卒園式が行われまし

た。



卒園おめでとう(修了証書授与式)

ここ赤松幼稚園大枝分園では、七人の園児が卒園しました。修了証書の授与式では、名前を呼ばれると「ハイ」と大きな返事をし、大きくなったら看護婦、お相撲さん、婦人警官になりました。など、将来の夢を発表しました。

出を元氣いっぱい報告しました。父母たちはうまくしゃべれるかと不安な様子でしたが、屈託のない子どもたちの姿にほほえみながら、元氣に育ってくれたうれしさに涙ぐむ光景もみられました。

四月から新一年生です。先生やお兄さん、お姉さんの言うことをよく聞いて、楽しい学校生活を送ってくださいね。



一緒に遊んで楽しかったね(おわかれのことば)

井の端墳丘墓が県文化財に指定

遺跡公園として貴重な史跡を保存

平成五年末に研修センター「上郡ピュアランド山の里」建設に伴う調査で発掘された井の

端七号墓・八号墓が、このたび兵庫県指定文化財として新たに指定されました。町内では十八

番目の指定です。

同遺跡は、約千八百年前の弥生時代後期の墳墓で、盗掘をまぬがれており資料として高い価値をもっています。特に列石で囲まれた七号墓は、竪穴式石槨(せうけつがく)式石棺、木棺墓(もくかんぼ)こう(木棺を

生涯学ぶ喜びにあふれて

老人大学「千種川学園」閉講式

三月七日(木)、中央公民館で、老人大学千種川学園の閉講式が行われました。



各講座の代表者が修了証書を授与

この老人大学は、高齢者の積極的な社会参加と豊かな地域づくりの指導的役割を果たせるように、昭和四十七年に設立され、今日まで多くの方が農園芸、家政、文芸、陶芸などのそれぞれの課程を学ばれてきました。

当日は、一・二年生と聴講生、来賓など約四百人が見守る中で、三十八人の方が修了証書を授与されました。

また、午後からはアトラクションとして、歌や詩吟、ダンス、謡曲など老人大学でのクラブ活動の成果が披露されました。

水とともに歩む町づくりを

上郡町が「水の郷」に指定

このたび、上郡町が国土庁から「全国水の郷百選」のひとつに指定され、三月二十二日(金)に認定証を受けました。

これは、地域固有の水をめぐる歴史や生活文化を持ち、優れた水環境の保全に努め、水を活

かした町づくりに成果をあげている地域を指定するもので、兵庫県からは豊岡市と千種町も指定を受けました。

当町は、清流千種川とその支流により多くの恵みを受けてきました。「大池や鳳宮池」など



鶴亀さんから一人ずつ手渡されました

三月二十二日(金)、上郡郵便局からほうらいの里に入所されているお年寄り五十五人に、長寿をお祝いする手紙セットが贈られました。

これは、手紙を出したり受けとる喜びによって、お年寄りに対する思いやりと温かい心を育むことを目的に行われたもので、ただいま、長寿を祝う鶴と亀が描かれた八十円切手五枚と郵便書簡五枚を詰め合わせた手紙セ



ット(四百円)が郵便局窓口で販売されています。

贈呈式では、長寿にちなんで郵便局配達員の「鶴亀俊彦さん」から一人ずつ手渡され、お年寄りの代表村上スエコさんから、「友達や子ども、またお世話になった方々にお便りを出すのが楽しみです。」とお礼が述べられました。

だれに手紙を書こうかな…

ほうらいの里で長寿お祝い切手贈呈式

入れた墓穴)の三つの埋葬方法がみられ、竪穴式石槨からは鉄器やガラス製の管玉が、箱式石槨からは、ほぼ完全なままの男性の骨や破鏡などの副葬品が多数出土しました。このたびのような弥生墳丘墓からの鏡や完全なままの骨の出土例は、近畿地方でも大変珍しく貴重な史跡といえます。

現在、上郡ピュアランド山の里に隣接した遺跡公園として保存・整備されています。公園からは町の中心部や大池が一望で



平野部が一望できる遺跡公園

き、出土した時の状態がわかる説明板や散策道が設けられ、憩



写真付でわかりやすく説明されています

いの場となっています。

上郡ピュアランド山の里 オープン1周年記念 宿泊券・食事券を 抽選でプレゼント!

- ◆内容 *御宿泊券(1泊2食付) ペア5組(10名)
*御食事券(ミニ会席) 10名
- ◆応募資格 町内に在住もしくは勤務されている方。
- ◆応募方法 はがきに「宿泊券希望」もしくは「食事券希望」と明記し住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえお申し込みください。

◆応募期間 4月15日(月)~30日(火)
◆お問い合わせ・応募先
〒678-12 赤穂郡上郡町2748-1
上郡ピュアランド山の里1周年記念係宛 ☎2・6388



空缶ひろいなど奉仕作業も活発に行われています

の農業用ため池は私たちの身近な水辺空間としても親しまれています。また、水環境を守る石けん使用、廃油回収運動、清掃活動など活発に行われています。そして、ふるさと創生事業として

ふるさと創生事業でも川にまつわる伝説、名所などを紹介しています



て「上郡のあゆみ」「ふるさとを訪ねて」などの発刊による町の歴史や伝説、名所の紹介などが行われるなど、これらの取り組みが評価されました。